

「重点推進計画(案)」に対する御意見と対応

NO	ページ	行数	御意見	県の考え方
1	12	12	第2部 (1)拠点の整備及び研究開発の推進に関する取組の内容 イ ロボット (新規追加) ⑧ロボットバレー構想の推進 福島県浜通りを「ロボットバレー」とすべく、「技術開発」「生産」「コンベンション」「企業集積」等各々の拠点化を目指し、国際的ロボット産業集積地を構築する方策・取組み等を検討・具体化を目指す。	「第2部4(1)イロボット」において、「浜通りをロボットの一大開発実証拠点とする」ことを目指す旨記載しているほか、「第3部2(3)ロボット」において、「ロボット産業革命の地 ふくしま」の具体的な取組を記載していることから、計画文言の修正は行わないことといたしました。
2	25	29	第2部 (2)産業集積の促進及び未来を担う教育・人材育成に関する取組の内容 エ 大学等の教育研究活動の推進等 (一部挿入) このため、…のネットワークをいかすとともに、 <u>県外の国立大学法人(東京大学を始めとする等)各校とも連携を図り、人材育成に取り組む。また、浜通り地域等の自治体との連携活動を促進する。</u>	・「県外の国立大学法人」に限られないこと、「東京大学を始めとする」と県外大学の代表として東京大学のみを明示できる状況ではないこと ・この文書の主語は推進機構であること、人材育成に取り組むのは大学等の高等教育機関の役割であること以上を踏まえ、以下のとおりといたしました。 <u>このため、福島大学や福島工業高等専門学校を始めとする県内外大学等の高等教育機関ネットワークをいかに、浜通り地域等の自治体との連携活動を促進する。</u>
3	27	9	第2部 (2)産業集積の促進及び未来を担う教育・人材育成に関する取組の内容 オ 地域の研究機関等と連携した産業人材の育成・確保 (一部挿入) また、…に対しても、 <u>UIターンを促す受け皿づくり、魅力づくりに取り組むなど、浜通り…</u>	御意見を踏まえ、以下のとおり修正いたしました。 <u>浜通り地域等の高校及び県内外の大学生に対して、企業見学、インターンシップを実施する等、生徒、学生に地元産業の理解を深め、地元企業の魅力を知ってもらう取組を行うとともに、高校生の保護者や教員に対しても実施していく。</u> <u>また、浜通りの産業を含む県内の産業について、県内企業PR動画やガイドブックの作成などを通して、積極的に情報発信を行う。</u> <u>さらに、県内学生等については、国立大学法人福島大学を中心とした「ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成の展開(COC+事業)」と連携して地元の新卒大学生等の地元企業への就職を促進する取組を行う。</u> <u>これらの取組により、若者のUIターンを促進するとともに、若者の県内定着を図る。</u>
4	31	34	第2部 (4)来訪者の増大による地域への交流人口の拡大に関する取組の内容 ア 拠点を活用した地域への来訪者の促進 (新規追加) ③ <u>Jヴィレッジの復興シンボル「中核拠点化」による交流人口拡大</u> Jヴィレッジは、東京2020オリンピック大会において、サッカー男女日本代表チームの事前合宿地として予定されており、地域の活性化に大いに貢献することが期待されている。 サッカー以外の競技にも活用し、併せて多様なイベントを開催することにより集客力を高め、地域振興、復興の拠点とし、交流人口の拡大を図る。	「スポーツ振興とスポーツによる地域活性化」という御意見の趣旨を踏まえ、以下のとおり修正いたしました。 第2部 (3)生活環境の整備促進に関する取組の内容 イ インフラ整備等の促進
5	32	40	第2部 (4)来訪者の増大による地域への交流人口の拡大に関する取組の内容 イ 地域と連携した新たな魅力創造等による来訪者の促進 (新規追加) ③ <u>観光ビジネス・スポーツビジネスの起業の促進</u> 交流人口拡大を一つの産業とすることにより、地域振興並びに復興促進を確実に図ることができる。 観光ビジネス・スポーツビジネスを地域産業として市場開拓をするため、人材育成を図り、起業の促進について検討・具体化を図る。	<u>また、避難地域12市町村それぞれの復興拠点や浜通りを代表する新たな交流拠点として平成30年度に再開するJヴィレッジを始め、道の駅や交流施設など、市町村や地域を牽引する団体等が設置する各種の拠点を核とした新しいまちづくりの構想や地域活性化の方向性の作成も進展してきている。</u>
6	47	26	第3部 2 新たな産業の創出及び産業の国際競争力強化等に寄与する取組 (5)ICT(情報通信) (新規追加) ○ AI技術の推進 県内大学における知の集積として、「AI技術」の推進を図り、技術開発、製造開発へ向け、人材育成と産業集積化を図る。	第3部2(5)ICT(情報通信)において、「…先端ICTの実証・開発支援を展開し、雇用の拡大や先端技術産業の創出に結びつける。」と記載しており、「AI技術」を含む先端ICT、先端技術産業に関する取組を記載していることから、計画文言の修正は行わないことといたしました。